

事前評価個表

整理番号	48
------	----

地域（地区）名	いなだに 伊那谷地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長野県	対象市町村	飯田市外28市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>当該地域は長野県の南部に位置し、森林面積は324,279ha（森林率81%）、このうち民有林は246,095haを占めている。</p> <p>主要な樹種はヒノキ、次いでアカマツの順であり、人工林率は51%と県平均を上回っている。戦後の拡大造林により、森林の齢級構成は10齢級をピークとして、間伐が必要な林分は人工林の90%にあたる約110,000haが存在し、間伐等の森林整備の推進が喫緊の課題となっている。</p> <p>また、森林整備に必要な路網の整備を進めているが、林道密度は6.1m/haで、県計画に対する進捗率は約51%であり、今後の地域材の有効活用の観点からも、森林作業道等として一層整備を図る必要がある。</p> <p>素材の流通関係は、間伐材の供給の拠点として「南信木材センター」が設置されている他、原木市場が2箇所あり、間伐材等の集積、出荷等を行っている。また、木質ペレット工場も2箇所設置され、木質バイオマスエネルギー利用の取り組みが行われている。今後、地域材の流通拡大に対応するため、それぞれの分野に応じた体制の整備を進める必要がある。</p> <p>このような課題に対応するため、本事業により搬出間伐を主体とする森林整備及び必要な路網整備を推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：26,382ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：11,880,575千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.72 (総便益(B) = 113,832,590千円、総費用(C) = 19,869,411千円)</p>
評価結果	<p>必要性：整備対象森林の状況、森林整備の緊急性等から当該計画の必要性は高いと判断される。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林施業を効率的に推進することにより公益的機能の発揮と木材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 伊那谷

長野県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	28,060,299	
	流域貯水便益	13,422,503	
	水質浄化便益	22,914,840	
山地保全便益	土砂流出防止便益	39,577,098	
	土砂崩壊防止便益	1,415,978	
環境保全便益	炭素固定便益	2,972,470	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	5,469,402	
総 便 益 (B)		113,832,590	
総 費 用 (C)		19,869,411	
費用便益比	$B \div C = \frac{113,832,590}{19,869,411} = 5.72$		

森林環境保全整備事業 伊那谷地域(長野県) 概要図

計画区の概況図

